

新聞記者に学ぶ (NPO・ボランティア団体向け) 情報発信スキルアップ講座

朝日新聞の記者経験者から、読み手に伝わる文章の書き方や広報紙作りの基礎を学びます。伝えたいことを文章で表現するのは苦手という方も「書いてみたい」意欲が湧く講座です。NPO・ボランティア活動の魅力や楽しさが伝わる文章を書いて、情報発信力を高めましょう。

【日程】 基礎編 令和4年1月29日(土)～2月26日(土) 13:00～14:30 **全4回**
 応用編 令和4年1月29日(土)～2月26日(土) 14:45～16:15 **全4回**

【会場】 かながわ県民センター11階 かながわコミュニティカレッジ講義室

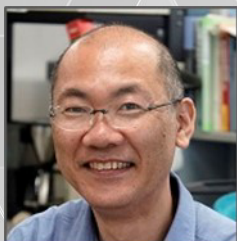
【受講料】 基礎編 3,000円 応用編 3,000円 【定員】 各30名 【申込締切】 1月13日(木)

※基礎編、応用編の講座どちらか、または両講座のお申込みが可能です。

※応募者多数の場合は、基礎編、応用編それぞれ抽選となります。

※定員に達しない場合は引き続き先着順で受け付けます。

講師紹介



真下 聡

(まつか あきら)

1989年朝日新聞社入社、東京本社報道局デジタル編集長、デジタル担当補佐などを経て、現在、朝日新聞ジャーナリスト学校ディレクター



山瀬 一彦

(やませ かずひこ)

朝日新聞社入社、仙台、甲府支局を経て経済部、ワシントン特派員、be編集長、論説副主幹。現在、朝日新聞ジャーナリスト学校アドバイザースタッフ

■人に伝わる文章を書く技術を学ぶ

講師 山瀬 一彦、講師 真下 聡

基礎編

13:00～14:30
(90分)

第1回 1月29日(土)	読み手に伝わる書き方とは① (真下 聡)
第2回 2月5日(土)	わかる・伝わる文章のコツ(前編) (山瀬 一彦)
第3回 2月19日(土)	わかる・伝わる文章のコツ(後編) (山瀬 一彦)
第4回 2月26日(土)	読み手に伝わる書き方とは② (真下 聡)

(基礎編) : 人に伝わる文章を書く技術を学ぶ <講義とワーク>

- ・わかりやすく伝わる文章のコツを演習形式で学ぶ。
- ・読み手の興味を引き、最後まで読んでもらえる文章が書けることをめざす。(講座中に文章を書く課題が出ます。講師が講評を加えてお返します。)

■広報紙づくりの基本を学ぶ

講師 真下 聡

応用編

14:45～16:15
(90分)

第1回 1月29日(土)	読まれる記事の書き方
第2回 2月5日(土)	見出しのつけ方
第3回 2月19日(土)	読みやすい紙面の作り方 ①
第4回 2月26日(土)	読みやすい紙面の作り方 ②

(応用編) : 広報紙づくりの基本を学ぶ <講義とワーク>

- ・NPO活動・地域活動の広報・情報の周知を目的とした記事(行事の紹介、活動の報告など)の書き方のポイントを確認し、見出しのつけ方を学ぶ。
- ・レイアウトや写真・イラストの入れ方など、紙面づくりのポイントを学ぶ。

※カリキュラム・講師は都合により変更になる場合があります。



かながわコミュニティカレッジ

検索

【講座実施団体】 一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

【協力】 朝日新聞ジャーナリスト学校

【申込み・問合せ】 かながわコミュニティカレッジ事務局

※日・月・祝日・年末年始を除く9時～17時45分開設

TEL:045-620-0743 FAX:045-620-0745